

結

ゆい

今年はロシア革命 100 周年、ソ連崩壊前、愛知旧友会（老ポリシエビッキの会）が計画した旅に加わってモスクワ、キエフ、レーニグランド（現ベテルブルグ）を旅した。ジョン・リード『世界を揺るがせた 10 日間』が動機である。

リードは眼前で展開していく革命を実況放送するかのように書いた。その時、レーニンや革命軍が陣取った建物はそのまま残っていた。18 世紀に皇帝ピョートルが湿地を埋め、エカテリーナが魂を入れた運河や建物が調和した美しい芸術的な街だ。ソ連崩壊後、資本主義勝利を雄叫びしたアメリカは 1% が支配する富者の権力社会に向かっている。従属する安倍政権に対抗し 99% が幸せに暮らせる社会、未来の社会主義日本を目指す道をいま語りあう時ではなかるうか。

代表 近森 泰彦

2017 年 2 月 10 日 編集「結」編集委員会 発行：ユニオンと連帯する市民の会

第 8 号



写真説明

闘うフィリピンヨタ労組

- 多国籍企業による開発途上国での労働基本権蹂躪を許さない闘い…田中 九思雄…… 2～3
- ドゥテルテ大統領の対麻薬戦争の効果か犯罪件数が大幅に減少……和田 等…… 3～4
- 独立と自由ほど尊いものはない 1969 7. 17 ホーチミン ……………小野 政美…… 5
- 越冬闘争・持たざる者の社会運動……………石田 慶太…… 6
- 過労死等防止対策推進シンポジウム……………松本 直子 他…… 7
- 新日鐵住金(株)名古屋製鉄所の見学記……………鈴木 明男…… 8～9
- リニア新幹線反対運動の現状と課題……………小林 収…… 10
- 名古屋港で漂流するシービーナス号……………柿山 朗…… 11
- 池内了ほか編『兵器と大学 なぜ軍事研究をしてはならないか』…木村 直樹…… 12
- 耕地四万夫『反骨と愛の百歳物語—ある土佐人の足ずり人世—』…近森 泰彦…… 12
- 名古屋港最初のストライキ……………土井 照雄…… 13～16
- 全日建運輸連帯労組の旗開きに参加して……………柿山 朗…… 16

多国籍企業による開発途上国での

労働基本権蹂躞を許さない闘い

237名の解雇撤回を求めるフィリピントヨタ労組を支援しよう！！

フィリピントヨタ労組を支援する愛知の会 共同代表 田中 九思雄

{争議に至る経過}

- ① フィリピンに進出したトヨタの工場で、2001年4月に個人加盟の労働組合が結成されました。フィリピン最高裁判所はこの組合が合法的に成立していることを認めました。
- ② 組合を嫌悪するトヨタが組合員233名を解雇しました。その後工場に残った組合指導者4名を解雇し、解雇者は計237名となりました。
- ③ 大量解雇直後、組合は解雇撤回を求め無期限ストに突入しました。
- ④ トヨタは当時のフィリピン大統領のアロヨに圧力をかけ、政府にストライキ中止命令を出させました。
- ⑤ 争議はここから始まり未だ続いています。16年継続した闘いです。



{トヨタによる争議圧殺の策動}

- ① トヨタは争議開始と同時に、当時のアロヨ大統領に圧力をかけ「フィリピンに進出した日系企業が労働争議に悩まされるなら、日本企業は全部フィリピンから撤収する」と恫喝しました。
- ② アロヨ大統領はこの脅しに屈し、組合圧殺に加担しました。組合事務所の近くに軍隊の分署を設置、工場内に警官隊を常駐させラインの巡視をさせました。また、エド委員長

殺を企てました。(未遂)

- ③ アロヨ政権は最高裁の判事を入れ換えて「フィリピントヨタ社の解雇は合法」の判決を出させました。
- ④ また、ストライキの時、会社の警備員を組合員が睨みつけたため、警備員が精神的に重大な損害を蒙ったとして、多数の組合員を刑事告訴し苦しい裁判に引き込みました。
- ⑤ トヨタは生活が困窮している解雇者に対し「円満退職に応ずるなら、手当を上積みする」と切り崩しに力を入れています。

{全世界的にトヨタへの非難が広がる}

- ① この争議は「多国籍企業が開発途上国の労働者の基本権を蹂躞した典型的事案」として、世界の労働諸団体が注視しています。日本のトヨタ本社に解雇撤回を申し入れた世界規模の労働団体もあります。
- ② ILO（国際労働機関）はフィリピントヨタ労組と日本の支援団体の提訴を受けとめ、フィリピン政府に対し自主的に争議解決を図るよう7回にわたり勧告を出しました。結社の自由・団結権・団体交渉権（条約87、98号）の侵害であり政府は直ちに是正を行うこと。がILOの勧告の趣旨です。



{フィリピンでの政治情勢に変化が}

- ① 昨年のフィリピン大統領選挙でドゥテルテ大統領が誕生しました。今までに無い異色の政権が出現しました。
- ② この政権の今後の方針は未だ不透明ですが、政権に左派や労働運動指導者を参加させ、非正規労働の廃止を打ち出すなど、労働運動への対応に変化がみられます。
- ③ TMPCWA(フィリピントヨタ労組)は大統領府やDOL E(労働雇用省)にこの争議解決のリーダーシップを取らせることを目指し取り組みを強めています。



{日本での取り組みを強化し争議の最終解決を成し遂げよう}

- ① TMPCWA(フィリピントヨタ労組)が厳しい政治情勢の中で争議を16年(組合結成準備も併せると20年以上)続けてきた努力に本当に敬意を表明します。
- ② 「フィリピントヨタ労組を支援する会」(関東)と「フィリピントヨタ労組を支援する愛知の会」はTMPCWAと共同してトヨタ本社に争議解決を求める抗議要請行動を毎年行なってきましたが、トヨタは交渉に応じようとしません。
- ③ 今年は現地における政府への働きかけに連動して行動を強化し、トヨタが交渉に応じる状況をつくりあげるために全力を挙げます。
- ④ 皆さん方に支援する会(田中; 090-1724-8881)への加入、行動参加を呼びかけます。

ドゥテルテ大統領の対麻薬戦争の効果か

犯罪件数が大幅に減少

マニラ発 和田 等

▼対麻薬戦争

2016年6月末に就任したフィリピンのドゥテルテ大統領がさまざまな面から世界の耳目を集める存在となった。とくに注目を集めたのが、同大統領が違法薬物(麻薬)の根絶を狙って仕かけた「対麻薬戦争」である。大統領就任後の同年7月から12月



半ばまでに対麻薬戦争の結果、6000人以上が死亡した。このうち捜査に抵抗するなどしたため警察が殺害した人が2100人強、警察以外の手で殺害された人が約4000人となっている。また麻薬犯罪者100万人近くが自首した。

一方、民間調査機関が12月初旬に実施した世論調査によれば、麻薬関連容疑者に対する「超法規的殺人」に対して「家族の誰かが被害者になるのではとの不安を感じている」との回答が78%に達する一方で、ドゥテルテ政権の麻薬撲滅政策に対しては85%が「満足」と回答、88%が「ドゥテルテ政権に

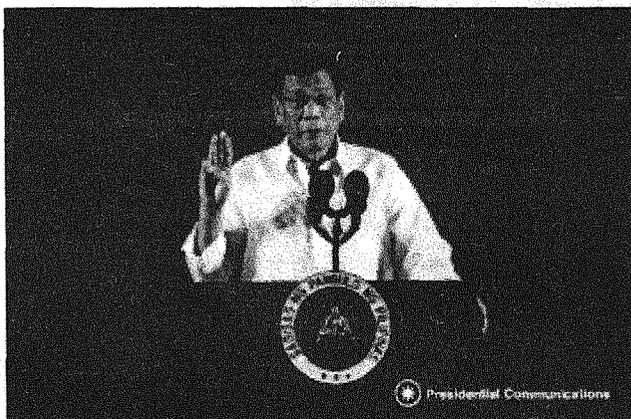
なってから麻薬問題が改善された」と考えていることがわかった。国民の多くが大統領の強硬策には不安を感じつつも、フィリピンが抱える深刻な麻薬問題を解決しようとの姿勢には期待していることが浮き彫りになった形だ。

対麻薬戦争が支持を得ている要因としては、犯罪抑制効果が表れていることがある。

実際、マニラに長く在住する外国人や夜遅く帰宅しなければならないカラオケ嬢の間では「治安がよくなって夜でも安心して歩ける雰囲気が高まってきた」と、ドゥテルテ大統領の方針に賛意を示す向きも少なくない。

あるカラオケ店のオーナーによれば、ドゥテルテ大統領就任前にはお店が終わって「深夜2時、3時に家に帰ると危ないので、明るくなる5時ぐらいまでお店にいさせてほしい」と言っていたカラオケ嬢たちが、最近ではお店が終わったとたんさっさと帰宅するようになってきているのだという。

犯罪統計にもその効果が見え始めた。フィリピン国家警察が2016年12月に発表した16年7月～11月の犯罪統計によれば、同期間の殺人、強盗、窃盗などの総数は前年同期比31.67%減の5万5391件。とくに窃盗事件は前年同期比42%減の2万9953件にまで減っている。一方で麻薬がらみの殺害が増えたこともあり、殺人事件の件数は前年同期比51%増の5970件となった。



これまで麻薬を買う金ほしさに強盗やひったくり、窃盗などに走っていた人たちが、警察に出頭したり更生施設で更生に励み始めたことが犯罪減の背景にあることは間違いないようだ。また治安の改善を優先政策のひとつに掲げた「フィリピンのダーティー・ハリー」こと、ドゥテルテ大統領による「荒

療治」の効果が徐々に表れてきているともいえる。それがフィリピン国民の間での同大統領に対する高い支持を生み出す一因になっているとってよさそうだ。

▼米国が失脚工作？

日本やベトナムと組んで、フィリピンを政治・経済的に孤立させ、ドゥテルテ大統領を失脚に追い込む。地元英字紙マニラ・タイムズが入手した米国のゴールドバーグ前駐比大使が書き残していた「戦略リスト」を元に、米国が大統領失脚工作を仕かけようとしていたと報じた。

米国側はそのリストの存在を否定しているが、オバマ米大統領がドゥテルテ大統領による対麻薬戦争下における人権問題に異議を唱えたのを受け、ドゥテルテ大統領が反米路線に傾き、米国との「離別」を宣言するにいたったことに、米国が不安と危機感を感じていたことがうかがえる。

いかに米国が自国の意に沿わない政権に対する転覆工作を否定しようとも、米国のこれまでの動きをみれば、それが言い逃れでしかないことが浮き彫りになる。最近では、実際に武力を行使してのイラクのフセイン政権やアフガニスタンのタリバン政権の転覆、リビアのカダフィ政権の打倒などがその一例である。

かつてニカラグアのサンディニスタ政権やパナマのノリエガ政権、チリのアジェンダ政権にちょっかいを出して実際に政権交代させた経緯があるからだ。こうした「実績」を重ねてきた米国が「ドゥテルテ政権の転覆を画策したなんてとんでもない」としらを切っても、白々しいというほかない。

振り返ってわが日本をみてみよう。安倍政権の下、武器輸出が解禁されたことは周知の事実だ。そうすると当然、武器を売る相手を見つけ出すことが至上命題となる。一番、てっとり早いのが自らに火の粉が降りかからないところで戦争を起こすことだ。将来、日本が「米国ばり」にそういう工作を仕かけないと誰が言えるだろうか。安倍政権の下、日本は徐々に「戦争を欲する国」への歩みをはじめたと感じるのはい過ぎなのだろうか。

「独立と自由ほど尊いものはない 1969 7.17 ホーチミン」

<2017 ベトナム訪問記>

小野 政美 (元小学校教員)

12.14 越冬前段集会 (野本三吉さん講演)、12.19 名古屋市・愛知県・愛知労働局交渉 (野宿者襲撃・野宿者の人権教育質疑要請担当)、12.28 越冬突入集会 (司会担当。3つのユニオン・愛労連等の連帯挨拶) から元旦行事までの連日の越冬闘争のあと、1月2日、ベトナム・ハノイに飛んだ。ハノイは車とバイクが走り、空は砂埃と工場排煙で煙っていた。ベトナム戦争勝利40年、「ドイモイ (刷新) 政策」30年のベトナムの訪問の現実を僕はまだ受け止めきれないでいる。「ベトナム戦争・ベトナム反戦運動・ホーチミン」は、僕の高校大学時代の青春のすべてだった。

毎日毎日デモに出かけたあの頃の日々が、今でも鮮やかに蘇ってくる。「明日もきのうのように」の言葉を刻ん



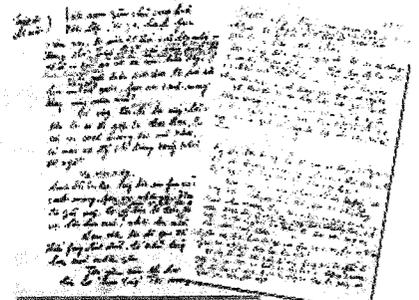
だベトナム反戦運動から50年。

1945年9月2日にホーチミン (Hồ Chí Minh・胡志明・ホーチミン) がベトナム民主共和国「独立宣言」を読み上げたパーディン広場の「ホーチミン廟」。そこに眠る79歳の「ホーおじさん」(Bác Hồ・伯胡・バック・ホー) は、映像や写真で観たままの姿だった。「戦争に勝利して独立と自由を達成したら、国民の幸福に思いを致すべし」、「私の遺体は火葬にして、遺灰を3つにわけ、北・中・南部の人たちのために、3地域の丘陵に埋めてほしい。丘陵には石碑、銅像を建てず、訪問した人たちが休むことができるような建物、記念に植樹ができるようになってもらいたい。日が経てば、森林となるだろう」、「アメリカに勝ったら築きあげよう、今よりも10倍も美しく」「民主主義があつて初めて、国の豊か

さや公平性、文化の発展、幸福が実現できる。民主化は共産党内から始まり、社会全体に広げられるべきである。人民こそ全ての源であるという思想がない限り、国づくりを成功させることはできない」……。死後15年後に公表されたホーチミンの遺言は、共産党一党支配のベトナムでは、残念ながら果たされていないように思えてならない。

多くの矛盾を抱えながら、ASEAN (東南アジア諸国連合) の経済成長率トップランナーのベトナム。社会主義国でありながら「ドイモイ政策」・「資本主義的政策」を大きく進める国ベトナムは、ホーチミンのような「象徴」なしに纏まらないのだろうか、ハノイなどベトナム各地を歩きながらそう思わないわけにいかなく

った。
雇用拡大政策も縫製など単純労働が多く、高学歴社会と言いながら希望する公務員や大企業に就職できず大学を卒業しても、失業者の2割を大卒者が占める。高嶺の花でわいろが横行する公務員などの横柄な態度も気にかかる。

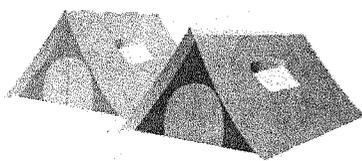


ハノイの街や田舎で出会った人々、日本に研修生や実習生で来て、熊本の農家で15時間労働を強いられたファン君のこと。花売りやパンを売るハノイ出稼ぎの女性たち (朝から晩まで働いて約1000円)。学校が始まり明るい笑顔で話した子どもたち。街や市場であった人々の素敵な笑顔。本屋で買った「ホーチミン写真集」。字数の関係で詳しく書けなかったこと、世界遺産の「ハロン湾」・「チャンアン鍾乳洞窟」、美味しかったフォーやチェなどの食べ物、旧市街の街並み、テト (旧正月) 準備の賑やかな花々など、いつかまた報告したい。

越冬闘争・・持たざる者の社会運動

石田 慶太 (名古屋越冬運営担当)

想像してください。仕事がない、病気やケガで仕事ができない、通信費も交通費もない、メシが食えない。年末年始は役所の窓口が閉まり野宿者は餓死と凍死と背中合わせになります。越冬闘争(活動)の第一の目的は、野宿者、失業者、日雇い労働者、生活保護受給者、無年金・低年金者、生活困窮者らの結びつきをとおして生きる力を再生することにあります。今年は年末の28日から新年4日まで官庁街に隣接する大津橋公園で42回目の越冬支援を行いました。名古屋市の土木局との交渉を重ねこの公園の使用を認めさせました。



野垂れ死にを一人も出さない! 仲間の命は仲間でもらう! と当事者と支援者が力を合わせて取り組んだ生きる闘いです。12月16日の前段集会で加藤彰彦氏(元、寿生活職員、沖縄大学名誉教授)の講演で元気をもらい、19日午前には名古屋市と労働局、午後には愛知県との大衆交渉を行い行政としての責任と合わせて越冬への協力を強く求めました。

▽地域の共同が支え

越冬開始集会には「名古屋ふれあいユニオン」、「愛知連帯ユニオン」、「シティユニオン」、「愛労連」はじめ多くの市民、政党からは本村さん(共産党)はじめ多くの方々が支援物資を持って参加してくれました。期間中、近藤さん(民進党)、平山さん(社民党)、岡田さん、柴田さん(共産党)「ユニオンみえ」、無実の死刑囚赤堀政夫さん、新聞報道で知った高校生や大学生はじめボランティアの方々が駆けつけてくれました。今年も皆さんからの寄せられたカンパ、米、野菜、衣類などで越冬が支えられました。ありがとうございました。

元旦には人形劇団「ひらき座」の太鼓が響き、歌をうたい餅つきも行うことができました。2日は宿泊施設「船見寮」(旧船員寮、今回64人入寮)で交流の後、恒例の韓国朝鮮民族芸能ノリバン演奏と唄を楽しみました。食事は公園で調理、健康生活班や反貧困ネットワークの法律相談、夜回り活動も計画

通り行うことができました。衣服の支給、散髪、街頭で訴えとカンパ活動など盛りだくさんの行動ができました。年末に住居を追い出された透析中の男性は暖と食事をとりテントで泊まり一息継いだ後民生委員が同行して福祉事務所に行く手配をしました。

▽労働組合に役割発揮を期待!

「障がい者は生きる意味がない」と相模原市のやまゆり園事件の容疑者は殺人を正当化しました。「人格あるのかね」と石原元東京都知事、高齢者に「いつまで生きているつもりか」と恥じらいなくいつてのける麻生副総理。「労働者の使い捨て」の上に増殖を重ねる資本の論理に通じています。使い捨てどころか被ばく労働のように「使い潰す」仕事を強いるブラック企業にストップがかからない。市場に任せればすべてうまくいく、新自由主義のもとで「企業が富み、国が豊かになれば貧しい者にも滴り落ちる」という安倍政権の施策は格差社会の広がりをもたらしくも落ちてこなかった。市民がイニシアチブをとって野党共同を進めかけてない「抵抗勢力」を生み出しています。

労働者層とは労働貴族的な上層部、普通の労働者、ワーキングプアもまた失業者や窮乏者も含んだ総体を指す言葉だと思えます。労働者階級の組織された闘う部隊である労働組合は歴史的な変動期に生じている深刻な問題に正面から向きあい社会的な闘いの組織者として役割を果たしてほしい。

非正規労働の拡大、失業者、半失業者への転落が新たな貧困をうみだし中流階級崩壊の要因になっています。日雇い労働者、生活保護受給者、無年金・低年金受給者、障がい者などは闘いの主体ではないのか? 労働者階級内の階層分化と深刻な分断、失業と貧困、競争と排除が広がるなか、労働組合(ナショナルセンター、ローカルセンター)がイニシアチブをとって就業者と失業者の協力をつくりあげる社会的な役割を果たすことが今の時期重要だと思っています。

過労死等防止対策推進シンポジウム 愛知

第一部 基調講演「パワーハラスメントを防止するために」

事務局員 松本 直子

第一部のメインは、岡田康子氏（株式会社クオレ・シー・キューブ代表取締役）の「パワーハラスメントを防止するために」と題する基調講演であった。まず最初に「長時間労働やハラスメントは人権を無視した行為」であり、「国が（それに対する）提言を出している以上、企業責任が問われる」とはっきりと言明され、胸にストーンと落ちた。「パワーハラスメント（以下パワハラ）」という言葉をつくった方ということで、言葉の定義から始まり、発生の要因や防止策まで、具体例をあげて丁寧に説明されとても参考になった。

特に印象に残ったのが次の二点であった。

まず、指導の内容が正しくても、感情的、高圧的、攻撃的な態度で言えばパワハラであり、言葉より態度が相手に大きな影響を与えること。次に、現代では人を通して自己目的を達成するので、人を思い通りにしたいという気持ちが生じやすくなり、誰でも加害者になる可能性があること。

パワハラの加害者に面談すると「正しいことを言っているのに一生懸命やっているのになぜ自分が？」と自覚のない人が多いと言う。グローバル化が進む中、他人を思いやれないギスギスした職場になっている。「パワハラをする企業は存続できない」という氏の説が一刻も早く証明されることを願っている。



基調講演の岡田康子氏

第二部 「パワーハラスメントの相談の現状」

事務局長 鈴木 明男

第二部は「パワーハラスメントの相談の現状」をテーマに連合愛知労働相談センターの坂平末弘所長とNPO愛知健康センターからは私が発言しました。

坂平氏は職場でのパワハラに対して「やめて欲しいと毅然とした態度で意思表示をする」「上司や会社の相談窓口相談する」「日頃から人間関係を円滑にしておくこと」などが大切だと訴えました。

私は児童生徒を対象にした「いじめ防止対策推進法」があるように「職場でのパワハラ防止法」の必要性を提言。相談事例では被災者に親身になって対応し、自死を思い止めた事例とK社会保険労務士のブログのような現実があり、追い詰められて自死した例をあげました。また、時間外労働の上限は労使協定でなく、罰則付きの法制化とインターバルを導入して「世界で一番労働者が大切にされる国づくり」を訴えました。

第三部 「職場いじめはなぜ起こる？」

弁護士 岡村 晴美

パワハラによる自死事案である加野青果いじめ自殺事件について報告しました。本件は、先輩女性2名から長期間にわたるパワハラを受け、配置転換で慣れない業務を短期間に引き継いだ後、指導と称したパワハラがエスカレートし、配置転換から3か月後に、21歳の若さで自死した女性の事案です。

原告は、最愛の娘を亡くした母親として、いじめ・パワハラについて知っていながら放置した会社の責任の重さ、先輩女性2名と会社が謝罪や誠意を見せてくれたなら裁判など起こさなかったことを語りました。

弁護団からは、適正な指導であればミスが減るが、パワハラの場合は、

長々とした説教によって対象者の労働時間を奪い、心理的に萎縮させることでうつ状態に追い込み、かえってミスを誘発するという構造があり、ミスが増えることでパワハラがエスカレートするという悪循環があると訴え、指導とパワハラとは全く異なるものであることを解説しました。

新日鐵は安全配慮義務を果たせ!!

安全第一「死傷者ゼロ」の職場を

新日鐵住金(株)名古屋製鉄所の見学記

1200℃、真っ赤に焼けたスラブ(鉄塊)

バスの車窓から構内の案内を聞きながら熱間圧延工場に到着。見学用通路から見下ろすと、真っ赤に焼けたスラブが3連4段の熱間粗圧延機を2~3回往復する。その度に薄く、長く延ばされて帯状の鉄板となり、100m程のローラーコンベアの上を流れて次は5連の仕上げ圧延機で更に薄く圧延されコイル状に巻き取られる。すごい光景を目の当たりにした。

同時に熱気も伝わった。夏場の熱中症を心配。暑熱対策は万全かと思った。

高さ30m位はある建屋の壁には「資源は有限、英知は無限」とある。いい表示だ。

創業は1958年9月

創業以来、58年。この製鉄所は東海製鉄、富士製鉄、新日鉄、を経て2012年10月、新日鐵住金(以下新日鐵という)へと沿革した。

東海市には他に愛知製鋼、大同特殊製鋼の二つの製鉄所があって、中部経済圏の鉄鋼の生産拠点として、トヨタ自動車をはじめ多方面に資材を供給している。

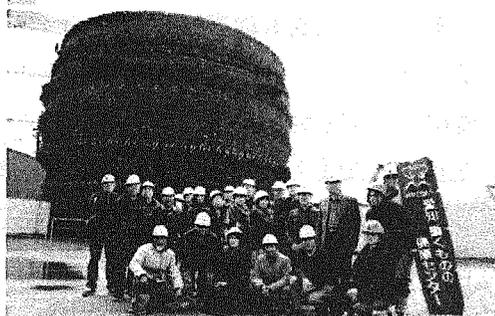
愛知健康センターは

毎年、労働者を大切にする企業の現場を見てきた。

例えば岐阜の未来工業は全員正規社員。残業はなしで年間休日は140日。5年毎に全員海外旅行等々、福利厚生面だけでなく、考えながら働く労働者を育てている。

また長野の伊那食品工業も全員正規社員。自然環境を生かして、きれいな職場と食文化を通じて地域社会への還元を進めている。

共通点はいずれの企業も利益は大きく、そこで働く労働者を大切にしている。



廃棄された実物の高炉をバックに記念写真

新日鐵住金へ

今回、名古屋製鉄所を選んだのはこれまで見てきた労働者にとって「ホワイト」な企業とはいいがたい。言わば「グレー」な企業も見ておきたいので選定した。

その訳は下記の要請をしてきたからだ。

- ① 創業以来58年間に165名の労災死亡事故を出している。労災防止を進めること。
- ② 相次ぐ爆発事故や粉じん飛散による被害などで地域住民を困惑させている。
- ③ 労災残存障害2級の鳴海 顕さんが退職しなかったことを理由に見舞金を支給してない。支給すること。
- ④ 共産党員である手塚治男さんに思想差別、昇級差別、賃金差別をしたこと。

など、その是正を求めて、健康センターは法廷闘争で原告らを支援してきた。また、栄総行動で申し入れ活動も進めてきた。

新日鐵への申し入れ

4項目には差別の撤回、見舞金の支給と併せて粉じんの飛散防止や多発する労働災害の撲滅がある。しかし、これまでの新日鐵の対応は横柄で労働者や市民の苦痛をないがしろにしている。進展がない

そうした中で新日鐵が募集している、見学会に申込み、構内へ入って現場を見ることにしたのである。見学者は小中学生が主だが毎年約2万人。

案内嬢も明るく親切で「百聞は一見にしかず」いい体験となった。

粉じんを出さない韓国の現代製鉄所を視察

とりわけ②の粉じん問題では、同じ問題を抱える韓国の現代製鉄所が公害防止の立場から、貯蔵庫やコンベアーを密閉式とし、地域を汚さない設備があることを知り、昨年5月に健康センターの局員ら13名が現代製鉄所と公害反対の団体を訪問してきた。

現代製鉄所と比較での感想はまず「汚い」であった。新日鐵は半世紀以上の操業であり汚れも当然だが、問題は野積みになされた鉄鉱石やコークスが風に飛ばされ住宅地域では窓が開けられない、洗濯物を干せないという。深刻な現実がある。

農家の温室ガラスに堆積して太陽光が室内に届かないとCBC・TVが放映した。

鉄鉱石やコークスは

工場建屋の壁に表示されている通り「資源は有限」だ。

だが、新日鐵の実態は資源の鉄鉱石やコークスを粉じんとして、まき散らし、街を汚している。韓国の製鉄所に学び100%「鉄」にする対策をとることだ。

現代製鉄は粉じん(主に鉄鉱石や石炭粉)を飛ばさないことで、年間およそ90,000トンの30億円分を、原料として使いきり、利益となっていると説明があった。

名古屋製鉄所は設備の老朽化も進んでいる。次の100年を見据えたプロジェクトが必要ではない

か。

「安全第一」待ったなし

新日鐵は毎年3人の割合で労災死亡者を出してきた。重傷者も後を絶たない。

この際、安全対策費をコストと見ないで、投資する必要がある。

その成果として死亡者ゼロとなり、遺族への補償費等がなくなる。利益が増える。

「無限の英知」を持った労働者のいのちと健康を大切にしたい。

166人目の死亡者を出ないように「待ったなし」今すぐ取組んで欲しい。



稼働中の高炉を見上げる参加者

愛知健康センターはこの日(2016年12月20日)事務局員ら23名が新日鐵を見学した。

午前中に半田市のミツカン酢と中埜酒造を2班に分かれて訪問。東海市の市役所食堂で昼食をとった。

マイクロバスのハンドルは事務局員の手塚さんをお願いした。

愛知健康センター事務局長 鈴木 明男

バンザイ

市民の声みよる

JR東海道線 金山駅ホームに

可動式柵の設置が決定

愛知視覚障がい者協議会
NPO: 愛知健康センター

2016/12/14「中日」はJR東海が金山と刈谷駅に可動柵を設置すると発表した。「JRがやっと動いた」と喜んだ。しかし、設置は5年先になるという。1日も早い完成を願わずにはられない。

リニア新幹線反対運動の現状と課題

小林 収（リニアを問う愛知市民ネット）

リニア中央新幹線反対運動は、全国的には「ストップ・リニア！訴訟」を軸に展開されている。この訴訟は、JR 東海への国交大臣の工事認可決定に異議申立をした5千人余のか中の約7百名が原告となって、昨年5月20日、国交大臣を被告として工事認可の取り消しを求める行政訴訟として、東京地裁に提起された。愛知県でも93名の原告があり、「ストップ・リニア！訴訟愛知」として、全国の原告団事務局に参加している。

反対運動の二重性

ところで、この「訴訟愛知」は、「リニアを問う愛知市民ネット」と「リニアを考える愛知県連絡会」の2団体で構成されたものである。誤解を恐れずに分類すれば、前者は市民運動的であり、後者は住民運動団体と言える。

前者の構成員には、リニアの沿線住民は極めて少ない。リニアへの反対理由も、超伝導による電磁波問題、エネルギーの浪費問題、採算性と交通のあり方問題、一般的な環境問題など、ルートがどこであろうとも、そもそもリニア新幹線には反対という立場である。

これに対して、「連絡会」の構成員は、春日井市、名古屋市守山区、西区、中村区など、県内のルートの近くの住民が大多数である。そして、反対運動の根拠も、工事や残土運搬車両による騒音・振動・粉塵などの公害・交通問題や、用地交渉への不安・不満、それに春日井市の旧垂炭鉱問題など、生活に密着した切実なものが多い。

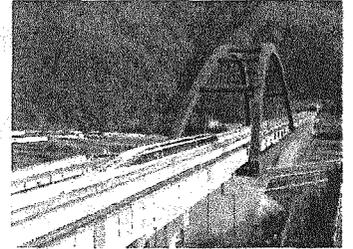
この性格の違いから、理念的な反対を掲げて、「市民ネット」の方がいち早く活動を始めたのに対し、「連絡会」は、本格的な工事が着工されつつある近時において、様々に住民からの情報を収集して、多彩な活動を展開しつつある。

リニア反対運動がもつこの二重性は、行政裁判を準備する段階から行きつ戻りつの議論がされてきたテーマであり、場合によっては、後者の活動から発生する沿線住民の日常生活への権利侵害を根拠に、工事差し止めの民事裁判を用意する必要性も指摘されている。なお、「ストップ・リニア！訴訟」の弁護団には、愛知・岐阜から全体の3分の1を越える9名の弁護士が参加を得ている。これは、かつての名古屋市内での新幹線公害訴訟の伝統を引き継ぐものであり、高木輝雄弁護士が全国の弁護団共同代表に就任されるとともに、ウラン鉱床地帯を抱える東濃地方を視野に、愛岐弁護団として会議をもち、弁護団の中核を担っておられることを報告しておく。

財政投融資問題と国会論議

そもそもリニア新幹線なるものは、その技術的安全

性への疑問から50年来傍観視されていたものが、2007年にJR東海が、自己資金の運用と借り入れで建設すると言いつつ出したことによつて具



体化し、「JR東海が勝手に造ってくれるのなら、そんなに有難いことはない」という調子で、国会審議を経ることなく、行政手続きが進められてきたものであるが、昨年5月末、安倍首相は突然、リニア新幹線事業に約3兆円の財政投融資をしようと言いつつ出した。その理由は、JR東海が、品川・名古屋間が開通した後、借金の返済のために8年間休んでから名古屋・大阪間に着工するとしていたのを、金を貸してやるから休まずに工事を継続しろというものである。そして、この金貸し事業を経済活性化のための重要政策の一つというのだから、アベノミックスも終末というほかない。

安倍首相は無自覚だろうが、この財政投融資はリニア新幹線事業の性格を大きく変え、ようやく国会の審議の対象になった。こうして衆議院(2016.10.26)では橋山禮治郎氏(アラバマ大学名誉教授)、参議院(2016.11.10)では川村晃生氏(訴訟原告団長)が、いずれも共産党推薦の参考人として意見を述べた。議案は、共産党と希望の会以外の議員によって可決となったが、他会派の議員にも問題の所在を知らしめることができた。

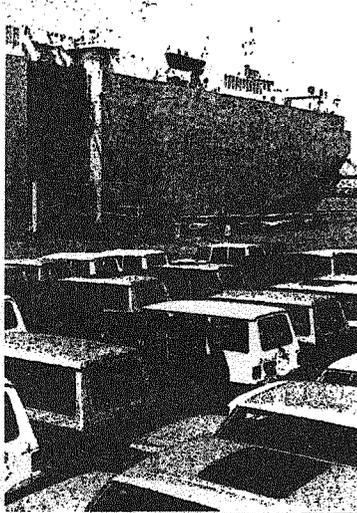
ところが、自・公・民・維4党の共同提案の附帯決議には驚いた。何と「融資にあたってJR東海の経営の主体性を損なうことがないように配慮する」とあった。つまり、政府に対して、JR東海に金は出しても、口は出すなと求めたのである。JR東海にとってこんな都合が良いことはない。

聞くとところによれば、この付帯決議は、JR東海ユニオンが連合に持ち込み、連合の根回しによって実現したようだ。市民運動に向かい合わずに、連合の顔色ばかりを窺っている民進党の態度が厳しく問われねばならない。私たちは、まず民進党の内部に議論を持ち込む努力をしなければと考えている。

名古屋港で漂流するシービーナス号

○金城埠頭での車輛積

1990年9月5日の早朝、金城埠頭に接岸したシービーナス号（パナマ船籍・1万2千トン、日本人船員4名とフィリピン人16名乗り組み）では、トヨタランドクルーザーと三菱パジェロが次々にランプウェーから船倉へ消えて行った。積み込まれたオフロード車のフロントガラスの貼りに乗組員たちは、首をひねった。船の行先はサウジアラビアのダンマンと聞いていたが、貼りに示された仕向け地はアメリカ合衆国となっていた。本船へは昨日来、船籍を消せ、Kの煙突マークを灰色へオーダーといった奇妙なオーダーが相次いだからである。不審に思った乗組員たちは海員組合名古屋支部へ電話を入れ、事情を至急調査するよう依頼した。



○突然の中東貢献船の出現

その頃東京六本木の海員組合の本部では、運輸省との間で既に湾岸戦争への中東貢献船として既に「平戸丸」と「キースプレnder」が決定し、交渉の最中であった。そこへ飛び込んできたのが名古屋のシービーナス号である。外務省から六本木へ呼びつけられたのが外務省、北米一課長の岡本幸夫氏（現外交評論家）である。米国議会が始まる前に日本の中東貢献をアメリカへアピールするためシービーナス号の存在をワシントンポスト紙へリークしたのも岡本氏であった。通産省との間で中東へのオフロード車の輸出をまとめたのも同氏である。「米国の要請に一刻も早く応じようとした政府（外務省）のフライイング」（中日新聞）であった。

○労使交渉の決着、出港

組合側として交渉に臨んだ全日海野村外航局長は『シービーナスの組合員はこの事態に戸惑っている。組合としてはこのまま船を出港させるわけにはいかない、として『①輸送と物資協力は同じとみなすこと ②多国籍軍の後方支援には組み込まないことを政府が保証すること ③危険な場所では船長独自の判断で停船したり、引き返したりできること』を政府に認めさせた。

○陸・海・空・港湾20単産の共同行動へ

シービーナスの出港の際、中東派遣に抗議のシュプレヒコールで全港湾をはじめとする労働組合や平和団体が飛島のトヨタセンター岸壁から見送る様子を地元紙が伝えている。

海員組合様に中東派遣を要請された医療、航空機の職場では、大学病院を抱える名古屋大学職員組合や航空機乗員組合連絡会議が「派遣反対」を決議した。行き先や期間、安全確保の手段すら明示しない派遣に労働組合が同意できるわけがない、のである。こうした労働組合の動きが、やがて1999年の新ガイドライン関連3法案の廃止を求める陸・海・空・港湾20単産の共同行動へとつながっていく。

○労働運動へ残された課題

シービーナス号は海員組合と政府との直接交渉、いわば「政労協議」で決着した。だが、本来は使用者である船主を引っ張り出して労使交渉で決めるのがスジである。直接生命が危険に晒される陸・海・空・港湾そして医療等の労働者は労働3権を抛りどころに先ずは使用者と対峙すべきであろう。日々の労働が戦争へ直結するとき労働3権、なかでも争議権を意識することは特に重要である。スト権を死文化させてはいけぬ。陸・海・空・港湾20単産の共同行動を成果、と前段で述べた。だがその後、国労解体攻撃、JAL再生法の中での活動家を狙い撃ちした整理解雇等々で20単産と労働者が積極的に支援に動いたのか、共同行動は政治的なアピールにすぎなかったのではないか、等々自問すべきことも多い。

柿山 朗

池内了ほか編「兵器と大学 なぜ軍事研究をしてはならないか」

まず、武器でもなく防衛装備品でもない「兵器」という言葉が、「大学」と組み合わせられているタイトルに惹きつけられ、プロレタリア川柳作家鶴彬の「君見ろ、兵器工場の職工募集」（1927年）に表現された時代を鋭く射抜く視線と同質のものを感じた。

イラク戦争を機に、経団連などから武器輸出三原則を崩す動きが顕著になり、ついに言葉をごまかして防衛装備移転三原則と変えたことで、原発輸出とともにアベノミクス第三の矢の隠し玉であることが明らかとなった。「大学は社会の次世代を担う学生たちを教育する重要な場であり、そこが軍と結託して軍事研究を当たり前のように遂行する場となれば、日本の未来は暗澹たるものになるだろう」さらに「現実には学術機関からの競争的資金は限られており、自分のところには回ってこない。ならば、

生き残りのためには軍から金であっても手を出さざるを得ない、そう追い詰められて軍事研究に加担していくのだろう」と池内氏は危惧する。

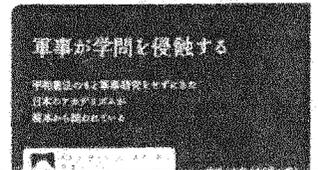
これが大学でなくて企業であればなお深刻化する。業績が低迷し始めると武器輸出や軍事研究への現実要請がまかり通る。「軍民両用技術」だから、相手国が軍事に転用するのはその国の事情であり、軍事といっても防衛用だという理屈もついてくる。この国が方向を失って暴走し始めていることへの軍学共同反対を表明する大学からの警鐘である。

木村 直樹

兵器と大学

なぜ軍事研究をしてはならないか

池内了 編
小寺 隆幸



岩波書店、本体 660 円

耕地四万夫「反骨と愛の百歳物語—ある土佐人の足ずり人世—」

耕地四万夫（本名 笹木弘）は今年93歳の元商船大学の先生。四万十川河口の「津蔵淵」という小集落が故郷である。父親と7歳上の兄が山にこもる炭焼きを生業にして四万夫の中学進学を支えた。中村市は紀貫之ら流刑人が都を偲んでつくった小京都と呼ばれている。高知市生まれの私は40年ほど前、弟の結婚式で初めて訪れた。

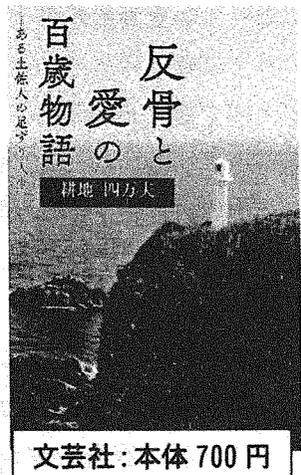
大逆事件で処刑された幸徳秋水を顕彰して毎年墓前祭が市内の墓地で行われている。共産党の不破さんのお父さんもこの出身。

戦前の商船学校にはイギリスを範とする国際性があり全寮制で規律を重視する秩序のもとでも学生の自主性は尊重され、学徒出陣は課せられなかった。著者は45年1月に召集され駆逐艦乗組員で終戦を迎えた。戦後、たたかう海員組合づくりを支えられた。60年代以降船舶の大型化、自動化に伴っ

て「合理化」が強行され乗組員は急減した。大型タンカーが遠路日本に帰っても、はるか沖のシーパスでは家族にも会わずそのまま再出港するといった非人間性が常態化した。これに対し海員組合は72年には92日間に及ぶ「人間性回復」スト

ライキで対抗した。著者はこのような闘いを「赤い教授」のレッテルをはねのけ全力で支えた。定年後、日本共産党に対して「いわゆる抵抗政党から家そのものを造る政党への脱皮を期待する、その方向こそが最大の抵抗に他ならない」と直言するなど批判精神旺盛な方である。

近森 泰彦



文芸社、本体 700 円

名古屋港最初のストライキ

土井 照雄（元港地区労事務局長）

1919年（大正8年）7月と10月のストライキ

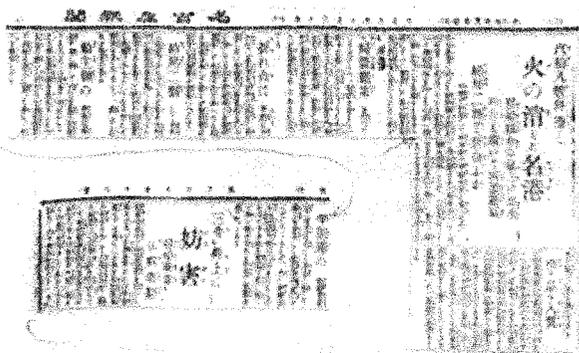
この年の7月と10月に港で働く者が賃上げを要求し、名古屋港初のストライキを敢行した。

半田港も賃上げ闘争

名古屋新聞 10月25日付けは「汽船8隻停滞し、火の消えた名港、艇組合の値上げ要求、昨日も続いて同盟罷業、結局2割で折り合うか、これが影響して半田港の艇組合も値上げを求む」、「名古屋港の艇組合420名が賃金の3割引き上げを要求して荷主側に容れられない事から、23日より同盟罷業に、一切艇を出さなかったため、8隻全部が停船、仲仕全部が休業となった」。

組合未加入者と沖仲仕も連帯ストライキ

「24日になっても折り合わず、組合に加入していない400名と沖仲仕もこれに和して3割の賃上げを要求し盟休したため、名港は火が消えたる如き」、「船主側の損害は2日間で4千円、その他関連の廻船問屋の損害は莫大に上るとして、伝聞した」、「三井物産は会社直属の艇を使い荷役を強行した、これに対し艇組合の600名が阻止のために対峙した。無経験なる人夫のため荷役は難儀した」と報道。



名古屋港のストライキを伝える名古屋新聞

労働者は団結して連帯して闘うもの

1867年「資本論」第1巻発刊、西欧では労働者のストライキが頻発した。日本では船員、港からストライキが広がったようだ。1894年日清戦争、1904年日露戦争の天皇制軍国主義の時代、日本も価値は農民、労働者が作る権利意識が芽生え、一時光が差した。大正デモクラシーと呼ばれている。

労働者の闘いは、組合加入者の闘いに、未加入の労働者、別組織の沖仲仕も、そして他の港の労働者などが連帯し闘った。

資本の側の組織的・不当な分断攻撃がなければ、労働者が団結し連帯し、闘うは当然の成り行きである。これらの闘いは、犠牲は大きかったが、経験を積み重ね、港地域に闘う革新の基盤を作り上げる出発点となった。

課題も 労働三権の確立

2割の大幅な賃上げを勝ち取る大きな成果を上げた。しかし、この闘いの主導者はどうなったかは記録がないので分らないが、損害の賠償責任や官憲の介入から、解雇、差別は当然、逮捕投獄を免れ得なかったと思われる。

労働組合を作り団結し、要求を提出して交渉する、要求が前進しない場合はストライキなどをしても逮捕されない、解雇されない、差別されない労働三権の確立が課題となっていく。

名古屋港務所でも賃上げスト

1937年 中国全土への侵略始める 39年 国家総動員法公布、戦争反対の学者、共産党員は全て弾圧されていた時代。

1939年 10月4～5日 名古屋港管理組合の前身である愛知県港務所の現場で、賃上げを求めストライキが闘われた。

組合長をしていた神保多次郎さんの話によると、当時「刑務所か港務所かといわれるほど労働がきつく、賃金が安く食べていけなかった、他の企業に転職する人も多かった。しゅんせつ船保田沖丸は朝一番に行うボイラーへの火入れを拒否し、突然ストライキになった」と語っている。

大幅賃上げ獲得 首謀者は解雇

所長の奥田助七郎（港湾会館の前に銅像あり）との交渉には特高警察の立会いの下に行われた。交渉団は直ちに投獄され、交渉は難渋したが、日給で1円ぐらゐの時に、いっぺんに25銭ぐらゐ上がったそうです。酒井太造、竹津勇一、小島伸太郎、榊原ら代表は、その後解雇された。犠牲を覚悟の上での食うための必死の闘いでした。

（「愛知県港務所の日誌」より）

名古屋港周辺では争議が多発

1927年2月と4月 大同電気製鋼所（大同製鋼の前身）で賃上げを掲げ争議。1933年8月 三菱航空機名古屋製作所（三菱重工の前身）では解雇反対

などで争議。37年5月再び賃金2割の引き上げを求め7800名がストライキに突入。重大事として憲兵隊が直接介入、それでも1割程度の賃上げを勝ち取った。

愛知時計の歴史的ストライキ

労働者の闘い方を示すこの地域で最も有名な闘争は愛知時計のストライキである。

1921年10月 要求は団体交渉権の確認、工場委員会の設置(労働時間、最低賃金・労働者の就職解雇などについての協議機関として、労働者側4名会社側3名で構成する)の斬新的なものであった。850名の栄町までデモ、4日間のストライキ、出勤拒否のピケ、争議資金の獲得のための行商隊の派遣など、多様な戦術が行使された。全国に争議が知れ渡り、東京、横浜、神戸などから続々来名し、声援を送った。

これに対し、警察は幹部を次々に逮捕、投獄させ、12箇所に分宿していた労働者名を突き止め、家庭を訪問し、意識調査を実施。会社も切り崩しを図った。一部の要求のみが認められたが、幹部の解雇は撤回されず、闘いは敗北に終わったが、この闘いによって労働者の団結権、団体交渉権に対する認識が高まり、争議戦術としても多くの教訓を残した。

愛知時計では1937年4月争議で全面的勝利。7月、中国全面侵略に突入の日、4月争議の約束を反故にする報復24名の解雇を強行。これに対し、翌朝従業員大会、6千人の労働者がストライキに立ち上がっている。

戦後労働運動の怒涛の前進 素晴らしき闘い

46年2月日本車両の闘い、6月から10月電産争議、9月名造船のスト、11月住友軽金属のストがこの地域で闘われている。

労働者の連帯、生産管理戦術、職員、雇員の差別解消、権利の確立などが前進し、労働組合への信頼を高めた。

戦後雨後の竹の子のように結成された労働組合は、46年6月組合数は1万2千、組合員数は368万人、組織率41.5%に達している。

この中には事業主が先手を打って御用組合を作っ



全港湾労働者組合名古屋支部

たのもあるが、多数は会社、工場の若手職員、非合法時代に学生運動を経験した者のリーダーシップで、結成された組合が多かったと言われている。

名古屋造船の生産管理闘争

46年9月名造船労組も生産管理をしながら、1ヶ月間の争議を闘った。戦後まだ生産が軌道に乗っていない中、生産復興と言う社会的要請に応える闘争戦術。労組は、マグロ遠洋漁業期に間に合わせるため4隻の建造に、労組の組織命令系統を作り着手。資金は手持ち資金と売掛金の労組受取を海運局に要請、不足資材は船主等に要請し獲得している。生産管理闘争については、政府は批判、中労委は賛意を示している。

労働組合の連帯

組合員の生活資金など闘争資金は、金属愛知連合会53団体、3万5千人から1人20円ずつ支援、さらに応援資金として1人10円から100円を積み立てて援助を決めている。交渉団には豊和工業、愛知時計、金属労協愛知、全日本機器中央委員会の各労組委員長が参加している。

闘争中の費用は会社負担

妥結項目には「闘争中の費用は組合の申し出に基づき全額支払う、闘争中の賃金も通常通り全額支払う。」を勝ち取っている。

当時の労働運動の連帯

今では考えられないが、争議組合に対し労働者・労組の連帯が築かれ、闘争資金、交渉団への参加など企業内でなく産別などの連帯が築かれている。共産党、社会党も要請団に参加するなど連携を強めている。(参考資料「愛知労働運動史」)

1947年 2・1ゼネスト

港地域の2・1スト体制 多くの職場で氣勢上がる港地域でスト態勢に入ったのは全日海、全港湾、名造船労組、電産名港火力発電所一州町と6号地、扶桑金属(後の住友軽金属)、日産化学、大同製鋼、三菱重工業などの労組と国鉄労組名港駅、堀川口駅、東名古屋港駅 名古屋市交通局港電車車庫(今の市バス車庫)、下ノ一色市電車庫、港区役所(港栄町)、保健所(港陽町)、水道局(港栄町)、農林省食糧倉庫の労組(6号地) 日通名港(西倉町)、東名港(6号地)などの支部分会、名古屋税関(入船町)などの労組がこの闘いに参加している。

愛知県名古屋港務所(現名古屋港管理組合)は県職に付いて行くことになったようだ。中川運河、松

重開門は当時名古屋市の管理施設で名古屋市職員労働組合とスト態勢に入っていた。

愛知の教員組合は年末の闘争で賃上げなどを勝ち取ったが、その後組合を分裂させ産別会議から脱退、2・1ストは目下保留中(1月末)となっている。

惟信高校分会は1月31日講堂で明日のストについて注意のための全校集会を開催。電話局築地分局(真砂町)はスト態勢に入った。

全通港郵便局は空襲で消失のため熱田郵便局内でスト体制、東海海運局の労組は45年10月名古屋駅方面に移転そこでスト態勢に入っている。

戦後労働運動の怒涛の前進 時代的背景はここで戦後3、4年間の労働運動が怒涛の前進を遂げた、そのポイントを検証する。

ポイント1 ポツダム宣言

第2世界大戦は世界史上最悪の惨禍を残した。日独伊のファシズムは、米英ソなどの世界の統一戦線に破れ、侵略を止められた。日本は無条件降伏し、ポツダム宣言を受諾した。日本とアジアの解放と民主化への条件を拡大した。

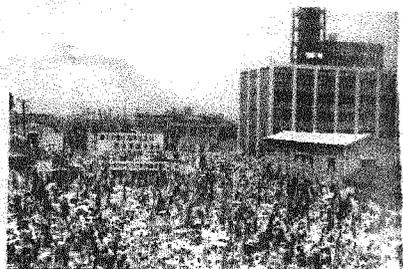
この戦争は5000万人以上の犠牲者を出し、二度と戦争はしてはいけない、領土拡大、植民地化は止めようと言う、世界的な、固い決意をもたらした。その上にポツダム宣言は成り立っている。当然、日本と連合国(米英ソなど)はポツダム宣言の実施義務を負っている。

ポツダム宣言の趣旨

1. 侵略戦争に駆り立てた権力の除去
2. 侵略し植民地とした領土の放棄
3. 日本軍の武装解除
4. 戦争犯罪者の処罰
5. 民主主義を阻む一切の障害の除去
6. 言論・思想の自由と基本的人権の確立、再軍備を可能とする産業の規制

以上が実行され民主的平和な国が確立したら占領を止めると決めている。

このポツダム宣言などは連合国や戦前厳しい弾圧の中、侵略戦争に命がけて反対し、闘った



原子力潜水艦寄港反対集会

日本を含む世界の民主勢力の遺産であり、世界平和への誓いであり、軍国主義の根絶と当時の世界の平和と民主主義の到達点を日本にも実現する事であった。

ポイント2 労働組合法の制定

労働組合法は1945年12月公布、翌年の3月施行された。労働組合を作り加入する自由を認め、団体交渉によつて労働条件を決定することを権利として認め、争議権を含め労働三権を憲法制定以前に確定している。占領軍GHQの労働組合奨励はあったが、この労働組合法は末広巖太郎労務法制委員長らの手で、欧米の労働法の到達点を反映した、自主的制定と言われている。またそれは戦前の無権利状況の中で闘った、多くの労働者、労働組合の権利要求闘争が反映された事になる。

ポイント3 戦争で破壊されたくらし

物価は終戦前に比べ20倍、賃金は平均的に4倍程度に抑えられ、物資不足、食糧危機。資本家は生産をサボタージュ、工場閉鎖、縮小、失業者は兵士と植民地居住者の帰還などにより600万人とも言われていた。だから労働者は生きて行くため、賃上げと食糧確保、産業復興のために立ち上がった。食糧の人民管理、隠匿物資の摘発運動が進められ、工場ではストライキと同時に、労働組合自身が生産を管理する「生産管理闘争」が闘われている。1946年6月現在、争議件数中生産管理闘争を闘ったのは40%に達している、この時期の特徴である。

ポツダム宣言に基づく民主化と反動

45年10月10日 政治犯439人の釈放、活動を禁止されていた日本共産党が公然と活動は始める。10月11日憲兵、特高警察廃止、10月15日治安維持法廃止、11月2日 社会党結成、11月21日 治安警察法廃止。

しかし、1947年頃から、占領軍アメリカの単独支配とポツダム宣言から大逆流が始る。1949年中華人民共和国成立、米ソ冷戦時代の始まり、アメリカはポツダム宣言を無視し、日本を世界支配の目下の同盟者とするため、旧権力の復活、再軍備保持、民主化のご破算、労働運動の弾圧右傾化へ転換、国鉄、郵政など数十万労働者の首切り、大幅賃下げと同時に、戦闘的労働者や共産党員を職場から追放する、大逆流へ動いた。

そして労働者の権利が1枚づつはがされていった。それとの闘いも積極的に闘われているが、憲法

規定以外ははがされ、空洞化させられた。闘いによって、一時的に賃金・労働条件の改善を勝ち取ることもあったが、今検証し、はがされた権利をどう取り返していくべきか、大きな議論と闘いが必要となっている。

今後、港湾産別の闘いの成果とTPPによる新たな攻撃との闘いが課題となってくる。

ユニオン学校 2016年6月26日(全港湾会館)

「名古屋港の労働運動の歴史と教訓」

全日建運輸連帯労組の旗開きに参加して

1月14日大阪で行われた旗開きは熱気と和太鼓で始まった。参加者の特徴は組合員に交じる生コン経営者の多さである。関ナマ型労働運動を「希望」とする外部支援者の輪の大きさは、武建一委員長が挨拶の中で労働学校アソシエの開設に当たって数億円のカンパが寄せられたこと、それは実績の評価であり今後への期待でもあると述べていたことからもうかがい知れる。更に挨拶では、資本の収奪に対して協同組合を作り、共生と協同社会を目指すことは、99%が1%に対してNOという世界の流れと合致していること。

TPP・沖縄・原発と安倍政治の行き詰まりは明らかであること、次の国政選挙での野党統一候補の重要性が強調され、団結ガンバローで盛会の裡に終了した。「関ナマ型労働運動」は生コン業界が大手セメントメーカーとゼネコンの中間にあり、景気に左右されやすい中小企業のもとでの劣悪な労働環境からの解放を目指す。組合主導で業者を協同組合へ結集させ、生コンの適正価格を要求してストライキで闘う。ゼネコンが生コンを買い叩こうとすれば、(ストに参加しない)アウト業者から買うことになるが、その生コンはセメント量を落とした不良生コンであるからゼネコンの買い叩きも長続きしない。生コンの品質管理に労働組合が率先し、万全を期すのがもうひとつの特長である。50年前若き武氏と労働運動のあるべき姿を論議し、個人加盟の産別組織の優位性を説いたのは、「若潮丸裁判」「名古屋汽船裁判」を闘った後、内航船員から全国自動車のオルグへ転じた石井英明氏である。50年経ても非人間的な労働と生活から解放されず、海員組合からも疎外された内航船員を見て石井氏はどう思うだろうか。



柿山 朗

【当面の日程】

- 2月：◆20日(月) 11時～ 寺井土木 関岡裁判 名古屋地裁
 ◆23日(木) 13時10分～ テーエスシー三輪労災控訴判決 名古屋高裁
 ◆25日(土) 18時30分～ ユニオン学校「少数派労働運動の闘い」阪野智夫 全港湾会館
- 3月：◆2日(木) 14時～ 全港湾 協和陸運の不当解雇 名古屋地裁
 ◆8日(水) 10時～ 名古屋市バス損害賠償請求裁判 名古屋地裁
 ◆10日(金) 18時30分～ I部：ユニオンと連帯する市民の会総会 労働会館
 19時30分～ II部：交流・懇話会
 ◆15日(水) 16時～ やまぜんホームズ 過労死裁判 名古屋地裁
 ◆16日(木) 13時30分～ 社保庁裁判 判決 名古屋地裁
 ◆19日(日) 13時30分～ 安倍の暴走を止める大集会 白川公園
 ◆24日(金) 18時30分～ 「共謀罪」なんていならない！集会 矢場公園
 ◆25日(土) 13時～ 秘密保全法に反対する愛知の会5周年総会・青木理講演会 中区役所ホール

■□ 事務局連絡先 □■

〒456-0006
 名古屋市熱田区沢下町9-3
 労働会館本館306号 健康センター内
 Tel&(fax)：052-883-6966(6983)
 メール：sf17wtka@tg.commufo.jp

1部100円

ユニオンと連帯する市民の会

お願い！ 原稿、感想、情報、意見をお寄せ下さい。

本年度の会費・カンパの振込をお願いします

振込先

郵便振込

口座番号：00820-7-169123